

1. 管理運営に関する基本的事項

(1) 公の施設の管理に対する基本的考え方



- 4つの基本理念
- 1 公園と地域の両面から都市の魅力を高めます。 都市の魅力を高める公園
  - 2 防災ネットワーク・ノウハウを活かし防災力を高めます。 高度防災都市を支える公園
  - 3 東京の生物多様性の向上に貢献します。 生命を育む環境を次世代に継承する公園
  - 4 パークライフを提案し、魅力を広く発信します。 豊かな生活の核となる公園

(2) 都立公園の管理における基本理念

本グループの管理運営における基本理念

私たちは、「人・自然・まちが元気になる公園」を基本理念に、むさしの・パークイニシアチブにより、公園のさらなる利活用の可能性を追求し、地域の多様な主体との連携を進めてきました。これまでの取り組みにより、新たな公園利用の可能性を広げる「チャンス」が数多く芽吹いており、さらに2020年のオリンピック・パラリンピック開催というビッグチャンスも控えています。私たちは、これらのチャンスを活かして、第2期の視点を「Chance in the Park—多様な好機を公園づくりに活かす—」とし、公園利用の可能性をさらに広げ、都市のブランド力の向上へ寄与します。

むさしの・パークイニシアチブ

地域特性・公園特性を活かし、価値ある暮らし、地域の活性化、環境資産の継承に寄与する取り組みを、産官学民の協働により、積極的に提案し、「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を実現することです。



継承・発展

本グループ公園の基本理念

人・自然・まちが元気になる公園づくり

CHANCE IN THE PARK  
—多様な好機を公園づくりに活かす—

- 1 より多くの人々と新たな連携を進める CHANCE!  
地域課題やニーズに対応していくため、多様な主体と連携する仕組みを強化し、利用の可能性を広げます。
- 2 公園を使った3対3の暮らしを広げる CHANCE!  
公園特性を活かした健康的な暮らしやコミュニティの向上など、暮らしの拠点となる公園づくりを進めます。
- 3 次世代へつなく、誇りと愛着を育む CHANCE!  
生物多様性や風景づくりなどの取り組みを拡充し、次世代へつなく、誇りと愛着を育む公園づくりを進めます。

●重点事業  
・あつらいいなをみんなで作る公園プロジェクト  
・ガーデンパートナー制度  
・地域防災力アップ

●重点事業  
・ヘルシーパークプロジェクト  
・むさしのカレッジ  
・地域連携によるマナーアップ

●重点事業  
・協働型雑木林保全モデルの確立  
・緑道管理ガイドライン  
・環境教育プロジェクト(キッズレンジャー等)

私たちが持つノウハウの活用と役割分担

私たちは、安定した公園管理と社会的・地域的なニーズに柔軟に対応できるコンソーシアムです。各構成員が持つ専門性や特性を活かすとともに代表企業がトータルコーディネーターします。



2. 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

全体・公園別・部署別の管理運営に基づく配置

- ① 《 全体 》 6公園2緑道すべての管理運営を本部で統括する。
- ② 《 公園別管理 》 公園毎に正確・確実・きめ細やかに管理運営を行う。
- ③ 《 部署別管理 》 部署毎に専門性を発揮して管理運営を行う。

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

24時間365日いつでも対応できる管理体制

- ① 統括管理所(野川公園)の設置による効率的かつ効果的な指揮命令体制の構築
- ② 日常の報告連絡相談による東京都や地元自治体、消防や警察等との綿密な連携体制の確立
- ③ 公園管理運営に携わる全員(管理所スタッフ、ボランティア、協力団体等)を対象とした緊急時対応訓練の実施
- ④ 発災時・被災時の現地・本部一体となった安全確保と早期の施設機能復旧

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上の取組

トータルマネジメント力と専門力のある人材の配置

- ① 公平・平等・安全を基本とした公の視点を持ち、公園管理に必要な知識・姿勢を備えた人材
- ② 公園管理に関わる「人材・資金・情報」をトータルにマネジメントできる経験豊富な人材
- ③ 公園の特性に応じ、多岐にわたる知識・経験を発揮できる「専門力」のある人材
- ④ 「おもてなし」の心もち、明るい笑顔で的確な接遇と対応ができる人材
- ⑤ 地域の資源や情報に詳しく、地域愛のある人材

スタッフの基礎的技術の習得と専門的技術向上

- ① 定期的な研修や視察、OJT等によって、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な専門知識・技術の向上を図ります。
- ② 公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有するため、定期的な会議や研修を積極的に行います。

### 3. 管理運営計画

#### (1)都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

##### オリジナリティあふれる公園の管理運営の実施

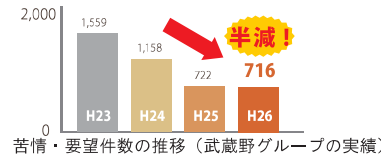
- ①常に公園のポテンシャルとニーズを徹底分析し、公園活用の可能性を追求します。
- ②産官学民の協働により各種プロジェクトの企画を立案し、具現化します。
- ③プロジェクトの評価・公開を行い、改善対応によって公園や地域の価値を高めます。



#### (2)利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

##### PDCAマネジメントサイクルに基づく意見の反映と誠実・平等な対応

- ①多様な手段による意見の把握
- ②PDCA部による分類・類型化
- ③意見の対応（迅速な確認～対応と関係機関などとの調整）
- ④対応の報告・公開・マニュアル化



#### (3)質の高いサービスを提供するための具体的取組

##### ターゲティングに合わせたプログラム展開と効果的な情報発信による利用促進

- ①多様なニーズに応えるターゲティングプログラム開発
- ②多様な広報ツールとメディアミックスによる情報発信

##### ボランティア機会の創出と「武蔵野おもてなし基準」によるサービスの向上

- ①パークコーディネーター常駐の強みを活かしたボランティア機会の創出
- ②ボランティアのニーズに合わせたスキルアップ機会の提供
- ③「武蔵野おもてなし基準」によるサービスの向上

#### (4)公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業の提案

##### 社会全体が幸せで豊かになる自主事業

- ①公園に新しい魅力を加えるプログラム（手ぶらBBQ、婚活/パークウェディング）
- ②都民の健康促進とオリンピック・パラリンピックの気運醸成に取り組むプログラム（世界記録リアル体感イベント、パークフィットネス、からだ測定プログラム）
- ③地元の力を活かし公園を盛り上げるプログラム（あったらいいなプロジェクト）
- ④武蔵野地域の魅力発信プログラム（むさしのカレッジ、むさしのパークライフマガジン）

#### (5)オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

##### 5つの“チャンス”を活用した公園の魅力向上させるプログラムの実施

- ①スポーツを活性化し、健康志向を定着させる“チャンス”
- ②公園の魅力や自然・文化の豊かさを全国・海外の方に広く知ってもらう“チャンス”
- ③多様な方にとって使いやすい・わかりやすい・安全な公園に変わる“チャンス”
- ④地域連携の輪が広がる“チャンス”
- ⑤ボランティアが育ち広まる“チャンス”



### 4. 施設維持管理計画

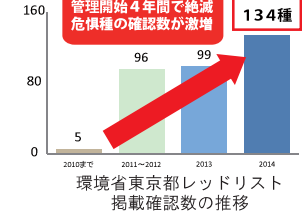
#### (1)適切な維持管理を行うための取組

##### 「計画性」「確実性」「効率性」を基本とした維持管理

- ①安全で安心して利用できる施設の提供
- ②アメニティ向上による快適で居心地の良い空間づくり
- ③美しく風格のある景観の維持
- ④生物多様性の向上
- ⑤資源循環・スマートエネルギーの活用



美しい芝地の再生



#### (2)事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

##### 平常時からの点検・訓練・準備による円滑な対応

- ①施設点検の徹底による予防保全と発生時の迅速な対応
- ②各関係機関との連携と情報共有の徹底
- ③地域関係者との防災・安全連絡会開催
- ④防災に関する普及啓発（防災イベント・訓練の開催、防災パンフレットの作成）
- ⑤感染症防止のための情報収集と注意喚起



パークスキャン（全スタッフによる徹底点検）

#### (3)要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組

##### 予防保全を重視した先行的な施設補修・改良の実施

- ①大規模な補修・改良の必要性が出る前の予防保全を充実させ、定期的な点検・保守を実施
- ②利用者からの意見情報・ニーズを活かした計画性のある補修・改良の提案・実施
- ③利用者の安全性・ユニバーサルな視点を優先させた予算配分の実施
- ④緊急性を要するものについては、先行実施など迅速で柔軟性のある対応の実施
- ⑤施設補修・改良を実施する際には、長寿命化・バリアフリー・環境配慮の視点をふまえた整備を実施

##### 国内外からの来園者に楽しみ満足いただける施設補修・改良の実施

- ①公園管理所等をおもてなし拠点として改良・整備
- ②公園内のサインの多言語化
- ③スポーツ施設の補修・改良
- ④施設のバリアフリー化



野川公園自然観察センター内の改修事例

#### (4)維持管理業務の進め方(野川公園)

##### 芝地環境の再生と生物多様性の向上、安全・安心を基本とした施設管理

- ①草地：高質な芝地環境の再生とフデリンドウ群生地など生物多様性に配慮した草地管理
- ②植込地：樹木の適正な生育や安全確保のための剪定、キンランなど林床植生に配慮した管理
- ③自然観察園：公園ボランティアや専門家と連携し、各ゾーンの特性に応じた植物管理「魅せる植栽管理」として、動植物の開花・繁殖時期を考慮した選択的除草の実施
- ④テニスコート：定期点検を行い、人工芝の目立てなど快適に利用できるプレイングオリティの確保
- ⑤遊具等の施設：毎日の日常点検を確実に実行し、不具合などの早期発見により安全・快適性を保持